



半促成スイカ栽培での病害虫発生に注意しましょう

ハウス半促成やトンネルでのスイカ栽培では、定植後の生育に合わせて被覆内の適切な温度や土壌水分の管理が重要ですが、さらに、換気のため被覆の開放が始まると、茎葉等に発生する病害虫についても十分な注意が必要になります。

スイカ茎葉の主な病害虫として、つる枯病、炭疽病、菌核病、うどんこ病、アブラムシ類、ハダニ類などがあります。

各病害は、いずれも多湿条件や曇雨天が続くと多発生しやすくなります。また、害虫のアブラムシやハダニ類は、高温で乾燥した条件を好み、圃場周辺の寄生植物から移動してきて増殖します。

スイカの茎葉が繁茂し、株元や葉裏などの観察がしにくくなってきても、管理作業の際などには出来るだけ丁寧に周囲を見渡し、病害虫の早期発見と発生初期の防除に努めてください。

【防除対策のポイント】

- 1) ハウスやトンネルの開閉等による通風や換気、適正な土壌水分の管理などに努め、また、敷きワラやマルチをして、灌水や降雨などによる水滴の跳ね上がりが直接茎葉や果実にあたらないようにします。
- 2) 下葉や葉の込み合っている場所の葉裏などを丁寧に観察して、病害虫の早期発見に努めます。
- 3) 病害虫の発生を確認したら、早期防除に努めてください。薬剤散布は、晴天の日を選び、夕方までには薬液が乾くような時間帯に、薬液が葉裏や下葉にもよくかかるように行うことが重要です。また、収穫前日数にも注意してください。
- 4) 薬剤耐性菌や抵抗性害虫の発生を抑制するため、分類（コード）の異なる薬剤でローテーション散布してください。

表1 スイカ生育中の つる枯病、炭疽病、菌核病、うどんこ病の主な防除薬剤 (令和5年2月15日現在)

対象病害				薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類	ミツパチ※
つる枯病	炭疽病	菌核病	うどんこ病					
○	○	○	○	ベルコートフロアブル	1,000倍	収穫前日まで / 4回以内	M7	○
○	○			ベンコゼブ(ジマンダイセン)水和剤	400~600倍	収穫7日前まで / 7回以内	M3	3日
○	○			ドキリンフロアブル	500~1,000倍	収穫前日まで / 5回以内	M1	1日
○	○			ダコニール1000	700倍 700~1,000倍	収穫3日前まで / 5回以内	M5	○
○		○	○	パレード20フロアブル	2,000~4,000倍	収穫前日まで / 3回以内	7	○
○	○	○		スクレアフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	11	1日
○		○		シグナムWDG	1,500倍 1,500~2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	7と11	—
○	○		○	スコア顆粒水和剤	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	3	1日
○	○		○	ポリベリン水和剤	1,000倍 1,000~2,000倍	収穫前日まで / 4回以内	19とM7	2日
	○	○		トップジンM水和剤	1,500~2,000倍	収穫前日まで / 5回以内	1	○
	○	○		セイビアフロアブル20	1,000倍	収穫前日まで / 3回以内	12	○

注1) 表1の分類欄にはFRAC また表2にはIRACコードを記載しました(コードが2つは、混合剤です)。同一分類は作用点が同じなので、連用は避ける。

注2) 表1および2のミツパチ※は、ミツパチへの影響の目安を茨城県病害虫防除指針(令和4年版)より抜粋し、○は薬液が乾けば影響なし、その他は影響日数を記載していますが、天候、施設内の環境条件により日数の前後することがあるので注意が必要です。なお、—は指針に記載なしです。

表2 スイカ生育中のアブラムシ類、ハダニ類、アザミウマ類の主な防除薬剤 (令和5年2月15日現在)

対象害虫			薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類	ミツパチ※
アブラムシ類	ハダニ類	アザミウマ類					
○	○	○	モベントフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	23	1日
	○	○	グレーシア乳剤	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	30	—
○		○	モスピラン顆粒水溶剤	2,000~4,000倍	収穫3日前まで / 3回以内	4A	1日
○		○	ハチハチフロアブル	1,000倍 1,000~2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	21A	5日
○			ウララDF	2,000~4,000倍	収穫前日まで / 2回以内	29	○
○			チェス顆粒水和剤	5,000倍	収穫3日前まで / 4回以内	9B	1日
	○		マイトコーネフロアブル	1,000倍	収穫前日まで / 1回	20D	1日
	○		カネマイトフロアブル	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 1回	20B	○
	○		コロマイト乳剤	1,000倍	収穫7日前まで / 2回以内	6	1日
		○	スピノエース顆粒水和剤	5,000倍	収穫前日まで / 2回以内	5	2日

■ 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

■ 営農 NEWS は JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。